

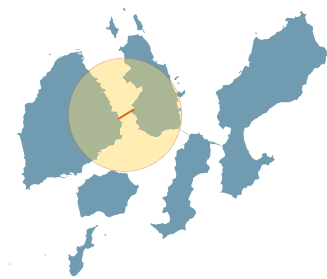


岩城側 取付高架橋

生名側 取付高架橋



【令和4年3月 完成予定】
上島架橋は、全国でもまれな離島同士の合併により平成16年10月に誕生した上島町の、生活基盤強化や産業の活性化を支援するため計画されたもので、岩城島を起点に、生名島、佐島を経由し弓削島に至る県道岩城弓削線（延長約6.1km）の海峡部を3つの長大橋で結ぶ事業です。
このうち、佐島と弓削島を結ぶ「弓削大橋」が平成8年3月に開通。生名島と佐島を結ぶ「生名橋」が平成23年2月に開通し、生活道路として定着。この「岩城橋」の完成により、上島3橋として、架橋事業本来の効果が発揮されることとなります。特に、この県道岩城弓削線は、大規模災害時には一刻を争う救命救急活動や町内4島の相互支援のためにも不可欠な道路となり、岩城橋の完成によって4島を連結する緊急輸送道路としての機能を充実させることが出来ます。上島町の皆さんこの岩城橋の開通はもう目の前に来ている。



一般県道岩城弓削線

岩城橋 閉合所作

8月30日（月）、橋桁の最終架設が行われた現場において、一般県道岩城弓削線岩城橋の閉合を祝して閉合所作が実施されました。今回は、愛媛県に新型コロナウイルスまん延防止等重点措置が適用されたため、閉合式は行わず、規模を縮小し閉合所作のみ執り行いました。愛媛県東予地方局今治土木事務所所長と上島町長、鹿島・エム・エムブリッジ・富士ピー・エス共同企業体工事事務所長と三井住友建設・三井住友建設鉄構エンジニアリング・昭和コンクリート工業共同企業体工事事務所長の2組に分かれ、閉合部を金のボルトで締め付けを行いました。



スパナを受け取る

金色のボルトを締める



白い手袋をつけて準備



閉合部へ案内

